

電解二酸化マンガンの産業の現状について

平成31年2月15日
産業構造審議会
通商・貿易分科会
特殊貿易措置小委員会

経 済 産 業 省

電解二酸化マンガンについて

電解二酸化マンガン(EMD)とは

- EMDは、マンガン酸化物の一つ。灰黒色の粉末。主として、一次電池に利用される。
- 乾燥、粉碎した二酸化マンガン鉱石を還元することにより酸化マンガンとした後、硫酸に溶解させ、電気分解により析出する。
- 東ソー日向が国内唯一のEMD生産者。東ソーが、全量を買取り販売。



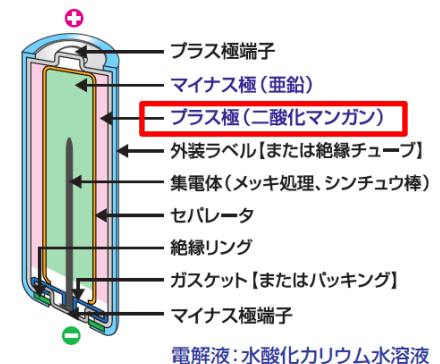
EMD

※写真: 経済産業省

EMDの用途

- EMDは、一次電池(アルカリマンガン電池)や二次電池(リチウムイオン電池)の正極材の原料として使用されているほか、フェライト、触媒の製造原料にも使用されている。
- 定置用リチウムイオン電池(住宅等に設置し、夜間に貯めた電力を昼間に利用したり、停電時のバックアップ対策として用いられる電池)に使用されるマンガン酸リチウム(LMO)の原料にもなっている。

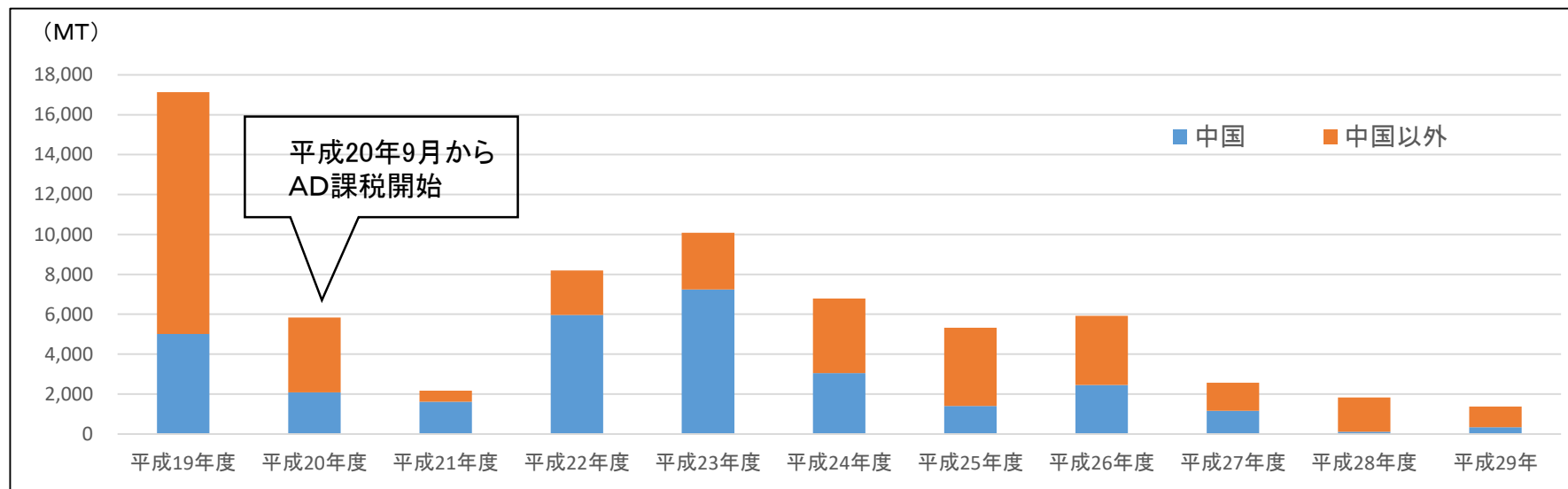
<アルカリ乾電池の構造例>



(出典) 電池工業会ホームページ

電解二酸化マンガン産業の現状

EMDの輸入量の推移



(出典:財務省貿易統計)

まとめ

- ダumping輸入が継続又は再発するおそれや国内産業に対する実質的な損害が継続又は再発するおそれがあることから、国内生産者は、中国産EMDに対する課税期間の延長を申請。
- 中国からの安価な貨物の輸入が国内産業に悪影響を及ぼさないよう、課税延長による保護の必要がある。